



カトリーヌ10世 Catherine X
Profile グローバル化が進む
 社交界事情にも通じる。
 密かな趣味は
 人間観察とコスプレ。
 好きな飲み物はモンラッシェ。
 日本ではほとんど
 知られていない、ある小国の
 女王とのウワサも!?

Theme

コンシヤス・ ラグジュアリー

05 Lifestyle

男たちよ目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ



し ばらく前からラグジュアリーを取り巻く世界では、「コンシヤス・ラグジュアリー」という言葉が頻出しています。意識高い、というと語弊がありますが、意識の高さの行き届いた、とでも訳しましょうか。英「フイナンシャル・タイムズ」が行う年次ラグジュアリー会議などで使われるのを契機として、ラグジュアリービジネス界隈で広まっています。何に対して意識が行き届いているのかといえは、例えば地球環境問題。ジェンダーギャップや人種差別など人権に関する問題。生産プロセスの公平性や透明性。異文化に対する敬意。そのような社会的な問題に対して意識が深く行き届いていることを示すことができようやく、ラグジュアリービジネスが支持されるという時代になっているのです。「最高倫理責任者（CEO）」を置く企業も増えてきました。

ひと昔前は、ラグジュアリーには「選ばれた」人だけが享受できる特権性や歴史遺産ないし伝統が必要とも言われました。しかし時代が急速に変わるなかで、そのような価値は完全に古いものになりつつあります。かつては情報格差がある富中心の世界観があり、ラグジュアリーを享受することは特別な階級に属するような意味合いもありました。高級品を提供する側もこれをマーケティングに利用してきました。かつてのあなたも虚栄心をくすぐられて不相応に高価なモノに手を出した経験はないでしょうか？（笑）

これからは文化格差が怒涛のようになくなっていきます。そのような透明でフラットな世界で評価されるのは、誰も排除しない包括性です。人間らしさの本質的な価値を追求していくようなラグジュアリー商品やサービスを提供する企業が、とりわけ若い世代から支持を得て力を増していくでしょう。伝統のないところからでもスタートアップによってラグジュアリーを生むことができることを証明する小さな企業も世界で続々生まれています。

人は古代からラグジュアリーを求めてきました。それは人や社会を輝かせるセクシーなものだから。ただ、時代の変化に応じて常にそのあり方や意味は変わり続けてきました。今まさに、何度目かの大きな変革の渦の中にいることを実感します。

ラグジュアリーを愛してやまない読者のみなさん、「昔の人」に成り下がらず新鮮なセクシーさを保つためにも、変化に対して機敏にマインドを切り替え、新しい社会に対する意識を研ぎ澄ませてください。

